



桜花祭



【献灯受付中】

一灯につき 二千元

短冊へお名前を記し、お飾りします。
申込、詳細をご希望の方は社務所窓口で
承ります。

令和六年例大祭

稚児募集

◆日時 令和六年五月二日(木)

◆参加費 六千元
(衣装貸与・おみやげ付)

◆締切 四月二十日

お子さんの健やかな成長をお祈りし
ましょう😊

お申込・お問合せ

米之宮浅間神社 六一〇八一七



神さまのお引越し

冬の厳しい寒さも和らぎ、暖かく過ぎ去りやすい気候
となつて参りました。春は始まりの季節です。新しい
環境に身を置いて生活する方も多くいらっしゃるかと
存じます。「引越し」もその一つであり、特に春先に
引越しをされる方が多いようです。

さて、神さまもお引越しされるといふことをご存知
でしょうか。神さまを遷し奉ることを遷座せんざといいま
す。例えば、神社の本殿を建て直す際には、本殿が完
成するまでの間、神さまは仮の本殿へお引越しをする
のです。

また、一定の年の周期を定めて行われる式年遷宮しきねんせんぐうと
呼ばれる神事があります。最も代表的な伊勢神宮の式
年遷宮は二十年に一度行われます。御正宮をはじめ、
諸殿舎社殿を新たに造り替え、神さまに奉納する御装
束神宝をすべて新調し、大御神おほみかみに新宮にいみやへお遷りいただ
く国家の重儀（皇家第一の重事）で神宮最大の神事
（神宮無双の大嘗）です。大御神が新宮へ遷られる
「遷御せんぎよ」に至るまでには、神殿の建築などの節目に、
おおよそ三十の祭典や行事が八年間にわたり斎行され
ます。前例によりますと、次期神宮式年遷宮は令和十
五年に予定され、本年は天皇陛下の御聴許を拝して、
伊勢神宮の式年遷宮の準備が始まることとなります。
二十年に一度という一生のうちでも数回しか巡り合
えない、祖先から受け継がれてきた日本の伝統に注目
してみてくださいいかがでしょうか。

昭和の日 四月二十九日

昭和天皇がお生まれになられた日で、戦前は「天長節」と定められ、ご誕生をお祝いする祝日でした。平成の御代に改まった際、昭和天皇が自然を愛するお人柄であったことから「みどりの日」と制定されましたが、「昭和天皇誕生日」という本来の意味が伝わりにくいという多くの国民の要望を受け、「昭和の日」となりました。昭和天皇の御事績に思いを馳せつつ、昭和の御代を振り返ってみては如何でしょうか。



氏神社について

氏神社とは、居住する地域をお守り下さる神さまをお祀りする神社の事を言います。お祀りされている神さまは神社によってさまざまで、氏神さまは子供の誕生から成長、地域の平安、日々の生活などを見守りくださる存在として、崇敬されています。また、氏神社周辺地域に居住する人を氏子と言います。



唱え詞について

神道では、特別な唱えことばはありませんが、神社に参拝するときは、神棚を拝むときは、「被え給い、清め給え、神ながら守り給い、幸え給え」(お祓いください、お清めください、神さまのお力によりお守りください、幸せにしてください)等の言葉で唱えられます。我が国には、言葉には霊力が宿り、口に出すことによりその力が発揮されるという「言霊」の信仰があります。神道では祓い清めることが信仰的にも神さまに近づくための大切な行いとなっています。



神棚拝詞や略拝詞などが掲載された『神拝詞』を無料でお送りします。



お申込みは



神社や神道について詳しくはこちらのQRからご覧ください。



神社では、家内安全・身体健全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・旅行安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病氣平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。

いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。

ご祈願についてのお問合せは神社まで

連絡先 米之宮浅間神社 社務所

〒416-0906

静岡県富士市本市場五八二

☎ 〇五四五(六二)〇八一七
☎ 〇五四五(六一)〇八二九